



対話と協働のまちづくりを目指して 羽幌町長 舟橋 泰博

新年 あけましておめでとう
ございます。

希望に満ちた平成23年の新春
を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申
し上げますとともに、日頃より町
行政に格別なるご協力をいただ
いておりますことに、厚くお礼を
申し上げます。

また、昨年11月の町長選挙にお
きまして、皆様の温かいご支援を
賜り、引き続き町政のかじ取りを
担うこととなりました。皆様の信
頼と負託にお応えするためにも、
全力で町政運営に努めてまいります。

平成22年を少し振り返ります
と、4月から、持家のリフォーム
により、「羽幌」への定住促進を図
る、「住宅改修助成制度」や焼尻め
ん羊肉の購入費を補助する、焼尻
めん羊消費奨励補助」など、町民
を対象にした各種事業を始めま

したところ、多くの方に関心をお
持ちいただき、制度を利用して
いただきました。これらの事業につ
いては、今後も継続して実施する
予定であり、町民の皆様には時期
が来ましたら、広報紙や町ホーム
ページでお知らせいたしますの
で、町政に参加する意味でも、制
度を積極的に活用していただき
たいと思っております。

また、8月に行われました「は
ぼる味まつり」では、魅力ある羽
幌の「味」を宣伝し、多くの観光客
を集めようと、事業の企画から実
施まで、多くの皆様がたくさんの
エネルギーを費やされました。そ
の結果、約二万五千人の方々が
「羽幌」を訪れ、新たな顧客が発掘
されました。事業がもたらした経
済効果からも、関係者のまちづく
りに対する熱い想いが感じられ
たとともに、事業を通じ、町民相

互の交流が図られ、このようにし
て町を支える人が育てられてい
くものと実感しているところで
あります。

さて、平成23年は、火葬場の建
設をはじめ、後年度に予定する
フェリーターミナルや羽幌小学
校などの整備を見据え、本格的な
検討を行っていくことになりま
すが、物を造るときはその「物」
をどう有効的に活用するかを合
わせて検討しなければなりません。
このため、事業の実施に際し
ては、町の未来を背負っていく子
供たちを始め、町民の皆様にご
いただいた施設となるよう、皆
様の貴重なご意見を伺ってい
たいと考えております。

また、基幹産業であります農業・
漁業につきましても、各種団体と
連携し、効果的な事業については、
積極的に支援させていただきま

すとともに、働く皆様の考えに耳
を傾けながら、環境づくりに努め
ていきたいと考えております。

まちづくりを進めるためには、
行政と町民の協働が最も重要で
ありますことは、私をはじめ職員
ともども肝に銘じております。就任
4期目のスタートの年としてこれ
まで以上に本町が飛躍できるよう
皆様と一体となり、抱えている諸
課題を解決しながら、身の丈に
あつた「まちづくり」に取り組ん
でいきますので、皆様のご理解とご
協力をお願い申し上げます。

終りに、町民の皆様には、今年
一年健康には十分ご留意いた
だき、明るく生き生きと楽しく暮ら
すことができ、町にとって、そし
て皆様にとって、良い一年となり
ますことを心からお祈り申し上
げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



自らの判断と責任をもって 羽幌町議会議長 橋本 修司

新年明けましておめでとうござ
います。

希望にあふれた新春を健やか
にお迎えのことと心からお慶び
申し上げます。

町民の皆様には、日頃から議会
活動に対する温かいご理解とご
協力を賜り厚くお礼申し上げます。
改めて昨年を振り返ってみま
すと、わが国は、デフレによる経済
の低迷、グローバル競争のさら
なる激化など依然として混沌の
度合いを強めております。

こうした経済状況にあって、
雇用不安や少子高齢化に伴う将来
への不安など、国民や町民の暮
らしに直接影響を与え大変厳しい
現状にあります。

一方、このよつな中、国外では
チリ鉱山落盤事故で33人全員が
69日ぶりに無事救出された、奇跡

の救出劇」、日本人として宇宙で
活躍した野口聡一さん、山崎直
子さん。また、道内では「鈴木
章」北大名誉教授のノーベル化学
賞受賞など感動と希望を与えて
くれた一年でもありました。

本町では、特別養護老人ホーム
「しあわせ荘」の第2期工事が完了
し、一昨年のユニット棟に続き多床
棟が完成し、入所者の方々におかれ
ましては新しい施設で新年を迎え
られたことと思います。羽幌町神
社例大祭では、65年ぶりに復活した
青獅子の練り合いは大勢の見物客
を魅了しました。また、「オロロン
の里はぼる味まつり」の開催は、関
係者のご努力により成功裡に終了
したところで、今後も活気と潤いの
ある取り組みに期待をしていると
ころであります。

全国的に異常気象といわれて

おりますが、当町でも5月の低温

7月、8月の大雨による被害や
猛暑の影響で、基幹産業である
農業においては、水稻をはじめ
各作物とも品質の低下や収量の
減少など大きな影響を受けまし
た。漁業では、一昨年と同様に
主要魚種のほとんどが大幅な魚
価安となり、農家・漁家経営者に
とって大変厳しい環境下となっ
ております。商工業では、各業
界とも現況を打開すべく大変ご
努力をされておりますが、未だ
長引く景気低迷で、消費購買力
の落ち込みなどにより深刻な状況
となっております。

われわれ地方にとって、自助
努力はもちろんです、一刻も
早く雇用や地方の経済活動に対
する確立した対策を望むもので
あります。

時代は地方分権から地域主権
を迎え、地方自治体には従来以
上の改革実践が求められており、
行政、議会、住民が一体となって、
自らの判断と責任をもって地域
の諸課題に取り組んで行かなけ
ればなりません。

今後、予定されております広域
ミックス事業（し尿処理）・葬斎場
の建設、羽幌小学校や保育所の
建替え等、財政を圧迫する事業
が続くと予想されます。コスト
削減など議会と致しまして慎重
なチェック機能と提言を果たし
て参りたいと思っております。

どうか本年も、ご指導とご鞭
撻をお願い申し上げますととも
に、迎えました新年が、皆様にと
って健やかで幸多き年であり
ますよう、お祈り申し上げます。
のご挨拶といたします。